

ホームページへの掲載	
済	7月 24日頃 掲載予定

岐阜県立東濃特別支援学校

学 校 長 伊藤 芳博

学校住所 土岐市泉町河合根ノ上1127-10 電話 0572-55-4821

- 1 会議の名称 令和元年度東濃特別支援学校評議員会（第1回）
- 2 会議の構成 委 員 加藤 東衛 様（土岐織部ライオンズクラブ 第一副会長）
川本ゆかり 様（工房さくらんぼ 管理者）
瀬瀬 健二 様（土岐市泉町河合区 区長）
田中 良夫 様（ドリーム陶都 施設長）
山田 信二 様（はだし工房共同作業所 所長）
(委員名は五十音順)

学 校 側 伊藤 芳博 校長
栗谷本典彦 事務部長
安藤 葉子 教頭
渡辺 政幸 部主事（小学部）
工藤 正紀 部主事（中学部）
高橋 廣和 部主事（高等部）
梅村 和由 教務部長

- 3 会議の目的 学校運営について、地域住民の代表や有識者から幅広く意見を伺い、開かれた特色ある学校づくりの推進を図る。

- 4 会議の開催 令和元年 7月 4日（木） 10:00～12:00 当校 校長室
委員5人と学校側7人が出席

5 会議の概要

(1) 学校概要説明及び児童生徒の様子紹介・学校見学

- 意 見 1 生徒・職員さんも皆、挨拶もしっかりされていて好感がもてる。職員の指導もよくなされている。
- 意 見 2 子どもたちが生き生きとしている。言葉遣いも丁寧で、真面目に学習に取り組んでいる姿があった。職員の一生懸命に指導する様子が伺われた。
- 意 見 3 卒業後の事業所も増えていくとよい。重度心身障がいの方々の方々の居場所を広げていけるとよい。今後お互いに情報交換をしつつできる限り協力したい。
- 意 見 4 熱心な指導の様子と、生徒たちの明るさに感動した。このような取組を重ね、少しでも広く社会に繋がることを願う。
- 意 見 5 先日まで、現場実習に来ていた生徒が自分から気持ちのよい挨拶をしてくれた。今後も、大切な宝物である子どもたちの支援について、相互に連携をし協力していきたい。

(2) 学校運営全般に係る経費（会計）概要〈事務部長〉

岐阜県教育費等の概要、当校の県費及び学校諸費について、資料をもとに説明をし、ご理解いただいた。

(3) 高等部作業製品の販売価格審査

当会議での作業製品の販売価格審査の根拠を「岐阜県特別支援学校高等部職業教育実習会計事務取扱要領」「特別支援学校高等部教育実習要項」より、お示しした後、各作業班の新規製品一つ一つについての価格審査を行った。

意見 1 陶器製品等、市販の製品としても十二分に扱える物がある。価格についても安価であると思ったが、実施要項の目的や学習の一環としての販売ということで理解した。

意見 2 販売の機会や展示紹介の場等、何かできることがあれば、協力を惜しまない。

6 会議のまとめ

○校長より（抜粋）

- ・本年度、創立40周年を迎え、新たに校訓「輝くいのち、共に生き抜く」を制定し、学校教育目標のもと、職員一同一丸となって、児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指して、日々の教育活動に勤しんでいる。
- ・本日は、学校施設設備や児童生徒の学習や学校生活の一端を参観いただき、ご称賛いただいたことを励みにしたい。
- ・作業製品の販売価格審査では、製品の質を高評価いただきご意見や品質改善のご助言、生徒の力を認め、生徒の気持ちに寄り添ったご意見、販売の機会や場所の開拓についてのご提案等を多数いただいた。今後ご意見を参考に取組んでいきたい。
- ・学校行事以外でもいつでも来校していただき、ご意見をいただけたら幸いである。
- ・第二回の開催日時・学校評価アンケートの協力依頼・学校祭の案内。